

「〇〇さん、最近顔を見ないな」と思っていると、その方が来店する。家内も同じことを考えていた。なんてことは一度や二度ではなく日常茶飯事です。サービス業に携わっている友人も同じ体験をしているそうです。思いは通じるといったところででしょうか？

おかげさまで珈琲香坊は今度の十月で八回目の誕生日を迎えることになりました。地元のお客さまはもちろんです。遠くは仙台市や福島市からもわざわざご来店いただけるようになってきました。本当にありがたいことです。平成十五年十月に開店したときには、まだ母さんのおなかの中にお客さまのお嬢さん、はるかちゃんは今もう小学二年。生意気盛りです。彼女は会うたびに目を丸くして「あのね」と流ちょうに矢祭弁を操って日々の驚きを語ってくれます。彼女の目には全てが新鮮に映っているんだろうなと少しうらやましくもあります。

民 報 サ ロ ン

そこで、地元の農家さん、商店さん、矢祭で商売をされている方を私はどれくらい知っているかと自問自答すると、「何も知らない」ということに気が付き、矢祭町の勉強を始めました。先生は地元の方々です。そして教えていただいたことを私以外にも伝えたいと思い、矢祭の魅力を胸を張って

「さで、地域といえば、今回の震災で、幸いにも当店は軽微な被害で済みましたが、矢祭の魅力を胸を張って、

まるごと矢祭



長谷川 修司

PRするインターネットサイト「まるごと矢祭」を立ち上げました。

矢祭の風景やいろいろなこだわりを持った職種の人をご紹介します。あのおときは本当にお店を続けたいと思います。すでに、冬になると富士山が見えるポイントとか、

滝川渓谷をこの位置から眺めるとすてきな風景が見えるよ、とか地元の方で、

PRするインターネットサイト「まるごと矢祭」を立ち上げました。矢祭の風景やいろいろなこだわりを持った職種の人をご紹介します。あのおときは本当にお店を続けたいと思います。すでに、冬になると富士山が見えるポイントとか、滝川渓谷をこの位置から眺めるとすてきな風景が見えるよ、とか地元の方で、

べる物はあるかい？と心配して食材を運んで来てくださった方、お米ばかりじゃ飽きるでしょとわざわざ地元のおいしいパンを持って来てくださった方、関東にある宅配便の営業所まで通販の荷物を運んでくださった方、数え上げたら切りがありません。

ライフラインとは水道や電気のような物ではなく、人と人とのつながりなんだなあと今回あらためて気付かされました。地域は人で成り立っています。たくさんの方がそれぞれの立場で誇りを持って地域を支えています。当店もそんな一つとして地域を支えていけたらと思います。

さて筆を置く時がきました。今回の震災で被害に遭った方々が一日も早く、笑顔で生活ができるようになることを心より願っています。「福の島」を復活させるべく、さあ今日もみんながんばっぺ♪

(矢祭町小田川、珈琲香坊店主)